

すばる科学諮問委員会報告

議事録: https://subarutelescope.org/Science/SACM/j_index.html

Gopira MLへ送付しているSAC Newsletterも参照下さい

大栗 真宗
(千葉大学)

委員会メンバー (2023.8-)

メンバー

稲見華恵 (広島大学)

伊王野大介 (国立天文台)

伊藤洋一 (兵庫県立大学)

河北秀世 (京都産業大学)

小宮山裕 (法政大学)

松岡良樹 (愛媛大学) **副委員長**

守屋堯 (国立天文台)

諸隈智貴 (千葉工業大学)

大朝由美子 (埼玉大学)

大栗真宗 (千葉大学) **委員長**

佐藤文衛 (東京工業大学)

下西隆 (新潟大学)

和田武彦 (JAXA)

植村誠 (広島大学)

ex-officio
(TAC委員長)

オブザーバー

宮崎聡 (ハワイ観測所長)

神戸栄治 (ハワイ観測所)

高見英樹 (ハワイ観測所)

山下卓也 (TMT)

青木和光 (TMT)

関口和寛 (国立天文台)

早野裕 (ハワイ観測所)

David Sanders (ハワイ大学)

安田直樹 (Kavli IPMU)

共同利用観測について (I)

- S24Aからの天候ファクター(WF)の取り扱いの改訂を決定
- HSC queue: 要求時間はこれまで通り積分時間+overhead, TACでの採択時にWF (0.7) を考慮, 最大要求時間の減少 (Normal観測: 50 hours → 35 hours)
- classical観測: Normal観測ではWFを考慮せず要求観測時間を算出, Intensive観測では要求観測時間の算出にWFを含めて良い
- Service観測: 要求観測時間にWFを含めない

共同利用観測について (2)

- 山頂観測の復活
 - すばるコミュニティからの要請により、学生PI観測に限って山頂観測が復活した (2023/8-)
 - ハワイ観測所の負担を注視しつつ対象を拡大するか検討される
 - 長期的には山頂無人化の方向

共同利用観測について (3)

- Gemini時間交換枠
 - 2021年からの時間交換枠制限、Fast Turnaround (FT) 観測応募制限によって借金がほぼ返済されたため、制限緩和を決定した
 - FT観測は月当たり最大0.4夜の条件を維持した上で、隔月だったFT課題への応募を毎月認める
 - S24Aから以前と同様のセメスターあたり5夜程度（ただしFT課題で消費した夜数分を適宜減らす）に戻す

共同利用観測について (4)

- SCExAOのfacility instrument化
- すばるコミュニティからの要望としてSCExAOのfacility instrument化を申し入れ、ハワイ観測所が検討中

関係する委員会委員の改選

- すばるTAC委員の推薦を光赤天連に依頼し、その結果も踏まえて改選委員を決定した
- せいめいSAC/TAC委員の推薦を光赤天連に依頼し、その結果も踏まえて改選委員を決定した

PFS戦略枠公募

- S24Bからの開始を念頭においたPFS戦略枠公募を開始することを決定した
- 締切: 12/7

LSST PI 公募

- 公募案を審議し、公募の準備を進めた
- 10月頃から公募、12頃締め切り (予定)

その他

- 共同利用公募のDA制度導入後の結果のモニタ (採択率における男女差がみられなくなり大きな改善が見られた)
- Roman宇宙望遠鏡の協調観測についての議論
- Hiz-GUNDAMプロジェクトからの協調観測の依頼を審議
- 2023年度すばるUM世話人の決定、準備の開始
- などなど